

公開質問状

質問 1 原子力発電所は、なくすべきだと思いますか？

なくすとすれば、いつまでに全ての原子力発電所の廃炉を決断すべきだと考えますか？

- ・ 原発は必要であり、将来にわたって維持する
- ・ 原発からの全面撤退を今、決断すべきである
- ・ (西暦 年まで) に原発をなくすため段階的に削減すべきである。

※この選択肢を選ぶ場合は () の中に数値をご記入ください

質問 2 福島原子力発電所事故は今も多くの人々を傷つけています。ところが、今年7月に北海道電力、関西電力、四国電力、九州電力は、合計12基の原子力発電所の再稼働を申請しました。東京電力も柏崎刈羽原子力発電所の再稼働にむけた準備をすすめています。今年から来年にかけておこなわれる原発再稼働に賛成ですか、反対ですか？

- ・ 原発再稼働に賛成
- ・ 原発再稼働に反対

【質問2に対する政策・ご意見を自由に記述してください】

質問 3 現在、多くの市町村長が「脱原発をめざす首長会議」(<http://mayors.npfree.jp/>)に参加され、原発ゼロ・脱原発のために積極的に行動されています。あなたが市長に当選した場合、「脱原発をめざす首長会議」に川崎市長として参加しますか？

- ・ 参加する
- ・ 参加しない
- ・ わからない

【質問3に対する政策・ご意見を自由に記述してください】

質問 4 福島の汚染水の問題で政府が水道水並の「安全な水」にして海に放流すると言っても漁民や一般市民の不安を募らせ大きな反対にあっています。川崎の場合、阿部市長は同じく水道水並の基準にするから「安全」だと宣言して内海に焼却灰の投下を実施しました。高線量の焼却灰は未だ放置されたままです。市民の不安を解消し、市民と一緒に話合い具体的な解決策を求める場を作る考えはありませんか。

【質問4に対する政策・ご意見を自由に記述してください】

質問5 再生可能エネルギーの普及は、相対的に原発への依存を低下させます。したがって、川崎市が積極的に再生可能エネルギーの普及に取り組むことは、地域から脱原発を実現する実践的な手段です。川崎市長として、再生可能エネルギー普及に向けてどのような取り組みを行っていきますか。ご意見をお聞かせください。

【質問5に対する政策・ご意見を自由に記述してください】

立候補予定者氏名

以上、ご回答ありがとうございました。

原発ゼロへのカウントダウン in かわさき